

松江藩領全域をおおう「輪切絵図」

——安定的な年貢確保を目的に——

上	杉	和	央
大	矢	幸	雄
石	倉	舞	美

(1)輪について

松江藩領には、「輪」と呼ばれる田に関する独特の区画があった。それは「一村ノ中、地味ニ隨ヒ幾所ニモ區別シ、之ヲ輪ト称ス」(明治2年「島根県歴史附録」とあるように、地味の条件をほぼ等しくするように区画され、「○○輪」という名称で呼ばれていた。この「輪」は17世紀後半頃にできたと考えられているが(原1934)、「輪」を理解するにあたっては、まず江戸時代の租税体系の概略を知る必要がある。

江戸時代、藩財政の根幹が年貢であり、その基本が米であったことは言うまでもない。そのため、それぞれの地域(村)における米の収量を把握することが、領主側にとって不可欠なことであった。そのための作業が検地であり、それぞれの田の面積を確定すると同時に、土壤や地形など土地の善し悪しを案分しながら「上田」や「下田」といったように田をランクづけし、ランクごとに単位面積当たりの平均収穫量を定めたのである。検地で確定した面積と平均収穫量をもとに田の収穫量が計算され、年貢が定められていった。

ただ、米の収穫量は温度や雨量などの条件によって毎年変動し、また水害等によって田が使用不能となる場合もある。あらかじめ定めた税率で年貢を算出しても、それに適った収穫が見込めるとは限らなかった。また、村のなかでも米の出来・不出来があり、安定的な年貢確保のためにはより小地域での収穫状況の把握が必要であった。このようななかで設定されたのが「輪」であった。松江藩では村の中で作柄がほぼ同一とおもわれる場所(上記に言う「地味ニ隨」場所)を単位として「輪」を設定し、「輪」ごとに収穫量を調査することで、より実態に即した年貢徵収を目指んだのである。

(2)輪切帳と輪切絵図

「輪」については、「輪」ごとの反別平均を記す冊子である輪切帳が作成されている。輪切帳には、検地に基づいた面積や土地柄といった基本情報を示す有高輪切帳と、年ごとの石高の増減等を記していく年々の輪切帳がある。これらの帳簿が年貢算出の基本資料となったが、輪切帳だけでは各「輪」が村のどこにあるのかは分からぬ。そのために各村の「輪」の分布を示す絵図も作製される場合があった。史料名としては「○○村絵図」と出てくるが、「輪」を明示することが目的となっている絵図を、ここでは仮に「輪切絵図」と呼んでおきたい。

江戸時代の村絵図には、周辺との関係が念頭に置かれて作製される領域把握型の絵図と、領域内の多様な地理情報を抽出・描写することが主眼となっている土地(地片)把握型の絵図がある(金田・

上杉 2012)。輪切絵図は、あきらかに村内の地片（＝「輪」）を具体的にとらえることに主眼があり、その意味で土地（地片）把握型の絵図の典型例と言える。ただし、現存する輪切絵図をみる限り、あくまでも村内の相対的な位置の把握がめざされたものであり、測量図のような詳細さは持ち合わせていない。また一枚図ではなく、郡ごとに綴じられた図帳形式となっているのも大きな特徴であり、村内での利用というよりも、より広域の郡単位で利用されていたことがうかがえる。たとえば、地方役人が郡内の収穫検分を行うなかで各村の「輪」をする場合などに利用された絵図であったと思われる。もちろん、輪切絵図は村方にも写図として保存されていたであろう。

現在、公的機関で所蔵が確認されている輪切絵図は表1にあるように12点であり、いずれも郡内の村（全体・一部）が半丁ごとに表現されて集約された図帳形式となっている。このうち、島根大学図書館所蔵図（島大図）は島根郡内的一部の村について、集落や道路、山地・河川が概略で示され輪の場所が示されている。島大図は図録内で全ページの図版が公開されており、利用に供することが可能である（島根大学附属図書館 2006）。

明治大学図書館（蘆田文庫）所蔵図は二種類あり、「出雲郡村々絵図」（明大図A）は絵図記載は簡略ながら、「輪」の面積と石高が記載されている。これは他の輪切絵図にみられない特徴であり、検分作業に具体的に使用された可能性の高い資料である。

一方、明大図Bとした10点の輪切絵図帳は、いずれも表紙に「布野」という墨書きがあり、一連の資料とみることができる。たとえば「島根郡村絵図」で島根郡の領域記載が省略されているなど、一次資料ではなく写本である可能性が高い。税収に関する資料であれば短期間に作製されてしかるべきだが、作製年に10年の開きがあることも、写本であるという理解を支えるだろう。とはいえ、松江藩領すべてにわたる「輪」の状況を知ることができるという点で、きわめて有益な資料である。

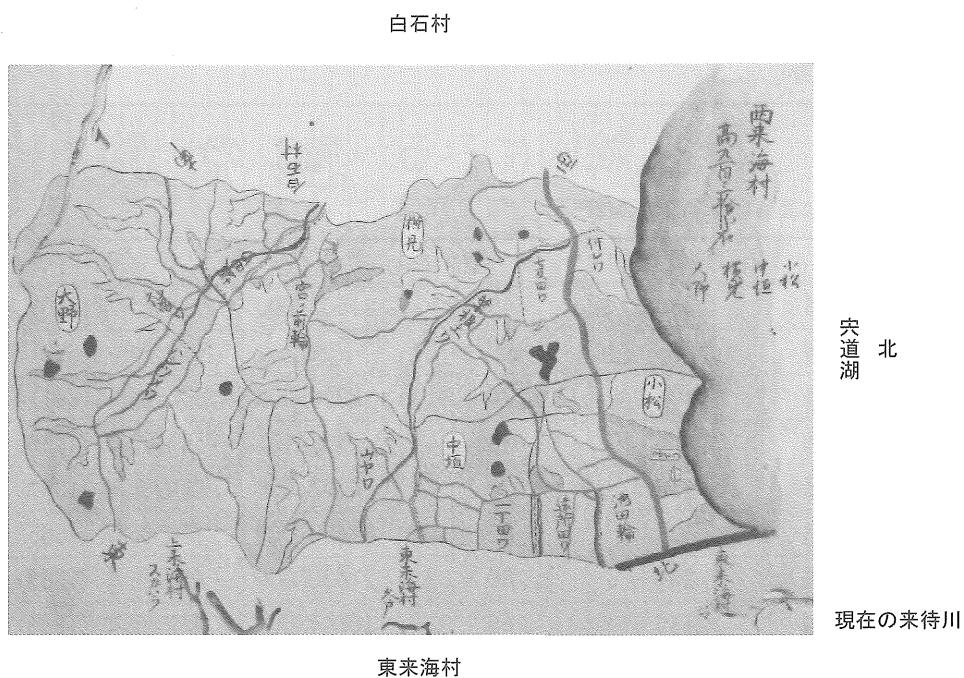
表1 輪切絵図一覧

資料名	作製年	所蔵機関	原寸サイズ	備考	略称
島根郡村絵図	[文政10年（1827）以降]	島根大学附属図書館	26.2x20.2	裏表紙に「西組」「三浦」と墨書きあり	島大図
出雲郡村々絵図	天保4年（1833）	明治大学図書館	13.1x18.7	表紙に「米村」と墨書きあり	明大図A
意宇部村絵図	万延元年（1860）初秋	明治大学図書館	13.2x19.5		
島根郡村絵図	万延元年（1860）初秋	明治大学図書館	12.7x18.7		
楯縫郡村絵図	文久元年（1861）初夏	明治大学図書館	13.4x19.5		
秋鹿郡村絵図	元治元年（1864）夏	明治大学図書館	13.6x19.2		
飯石郡村絵図	慶応元年（1865）夏	明治大学図書館	13.6x19.4		
出雲郡村絵図	慶応元年（1865）夏	明治大学図書館	13.5x18.9	表紙に「布野」と墨書きあり	明大図B
大原郡村絵図	慶応元年（1865）秋	明治大学図書館	13.6x19.7		
仁多郡村絵図	慶応元年（1865）秋	明治大学図書館	13.6x19.7		
能義郡村絵図	慶応三年（1867）夏	明治大学図書館	13.8x19.7		
神門郡村絵図	明治三年（1870）初夏	明治大学図書館	14.2x20.1		

(3)事例：意宇郡西来海村の輪切絵図

意宇郡西来海（きまち）村は、東西方向約1km、南北方向約3kmの宍道湖岸から山側に伸びる細長い村である（第1図）。村は、池田輪、宮ノ前輪、遠所田ワ、一丁田ワ、何レワ、七反田ワ、葉根土ワ、山ヤワ、元宮ワ、ハシツメワ、堺田ワと「輪」のつく名称が11ヶ所あり、藩内311村の中で1村当たりの「輪」の数が多い。では、西来海村はなぜ「輪」の数が多いのであろうか。

西来海村の場所は、現在は海拔50m前後の森林に覆われた丘陵地が広がり、その丘陵面を3本の小川が複雑に浸食して細長い谷間を形成している。「輪」の名称をもつ水田は、現在とほぼ同じような谷間にあったと思われる。



第1図 西来海村の輪切絵図

さらに絵図には、谷間の水田を取り巻くように「ため池」が数多く見られる。つまり、この村は、高燥な地形の下で、小川や雨水などの用水を補完しながら水田耕作を行っていることが推測される。また、村は入り組んだ谷間に水田があるため、水田ごとの日照時間数に地域差が生じていると思われる。

広島大学には、この村を含めた宍道町域全村の輪切帳（文久2年〔1862〕）がある。その分析結果によると、西来海村の大野分、横見分、小松分の地区は、田畠の平均収穫量（反当り平均値）が宍道町全村のなかで最も低い場所である（宍道町史編纂委員会2004）。西来海村は、高燥な土地、複雑な水田配置、日照時間や用水などの自然条件が、村内で地域的差異が大きいため、結果的に、水田の特性が複雑になって「輪」の数が多くなっていると思われる。

一方、絵図の宍道湖岸には「納蔵」の記載（「小松」の下）がある。村内で収穫された年貢米は、一旦この「納蔵」に保管して松江城下へ送られたと思われる。岸辺には「懸（か）け出し」と呼ばれる来待石を敷き詰めた突堤が昭和期まであって、水運による人や物の移動に利用されてきた。

「来海」の名称は、明治22年（1889）の合併を契機に、風土記時代の名称である「来待」に改められて今日に至っている。

上杉和央（うえすぎ・かずひろ） 京都府立大学准教授
大矢幸雄（おおや・ゆきお） 松江市立中央図書館長
石倉舞美（いしくら・まいみ） k k 江友社員

金田章裕・上杉和央（2012）『日本地図史』吉川弘文館
島根大学附属図書館編（2006）『絵図の世界——出雲国・隱岐国・桑原文庫の絵図——』ワン・ライン
原伝（1934）『松江藩經濟史の研究』日本評論社
宍道町史編纂委員会編（2004）『宍道町史』宍道町

本稿では、この明大図Bに記載される各村の「輪」を集成し、提示することを試みた。これまで十分には明らかにされてこなかった「輪」の実態についての基礎資料として活用されることを願いたい。
この資料作成にあたって、松江市史編纂室 主任編纂官内田文恵氏、専門調査員北村久美子氏の多大な協力を得た。

資料：絵図に見る「輪」の一覧

表2 絵図に見る村数・石高・輪数

	輪総数	村 数	総石高	絵図年代
意宇郡	330	(48)	31903.000	万延元年（1860）初秋
嶋根郡	225	(55)	未記入	万延元年（1860）初秋
楯縫郡	106	24	15316.000	文久元年（1861）初夏
秋鹿郡	67	28	(10,416)	元治元年（1860）夏
飯石郡	158	37	10222.000	慶応元年（1865）夏
出雲郡	157	32	21430.039	慶応元年（1865）夏
大原郡	261	66	21636.000	慶応元年（1865）秋
仁多郡	199	66	16504.000	慶応元年（1865）秋
神門郡	288	82	未記入	明治三年（1870）初夏
能義郡	95	(26)	13939.000	慶応三年（1867）夏
計	1,225	311	83731.039	

1村平均の「輪」数 = 3.94 *（ ）は図中に特記された数値で、その他は各村を集計した数値。

- ①以下に提示する資料は、絵図のサイズ、細密な記載方法などの性格から、文字の判読が不明なヶ所がいくつかある。今後とも、周辺資料との照合によって、資料の正確性を図る必要がある。その意味では、平成24年3月31日現在の基礎資料である。
- ②郡によっては、村内の「輪」名を同一図中の他の村名の下に記してある場合がある。図中に記載された「輪」名にない「輪」名は、表中に（ ）で記した。
- ③図中に記載された「輪」名と別記載の「輪」名が一致しない場合は、表中に（ ）で記した。
- ④「本郷」又は「別免」と「輪」名の前に記載されている場合は、表中には削除して記した。
- ⑤一村が「輪」である場合は、「一村一免一輪」に統一して記した。
- ⑥出雲郡の各村において、藩領石高と杵築社領石高が別立てに記載されている場合は、それぞれを区別して表中に記した。
- ⑦意宇郡大根島は、「輪」の記載がないが、各村名、石高は記した。

精祿部		石高	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	備考
多久村	532	浦井田舎	十王舎	源輪	裏谷輪	井戸輪	源田輪	井戸輪	源竹輪	宮ノ輪	前ノ輪	上ノ輪												5	
多久合村	420	石屋尾輪	鹿頭輪	源竹輪	宮ノ輪	前ノ輪	源田輪	井戸輪	源竹輪	島尾輪	源田輪	井戸輪												5	
某御村	607	井田輪	金田輪	源田輪	源田輪	源田輪	川西輪	内輪	源田輪	源田輪	源田輪	源田輪												4	
源田村	429	寺田輪	源田輪												5										
野石谷村	485	内ノ池輪	伊判田輪	仙益輪	源田輪												4								
久多見村	226	八支輪	池下輪	源田輪	山口輪												3								
万田村	538	西谷輪	冲ノ輪	源田輪	九反尾輪												6								
木庄村	310	松ノ輪	水佐瀬輪	市ノ瀬輪	下次輪	危尻輪	源田輪	源田輪	源田輪	源田輪	源田輪	源田輪												5	
奥宇賀村	81	福野谷輪	宇賀奥輪	源前輪	光尾輪	和田輪	源田輪	源田輪	源田輪	源田輪	源田輪	源田輪												なし	
口字賀村	464	原田輪	源田輪												6										
西之郷村	427	原田輪	源田輪												6										
西之郷村	1,068	馬口輪	船手輪	芦原輪	空ノ輪	源良輪												6							
西之郷村	393	仲ノ輪												4											
平田村	1,242	蛭頭輪	源深輪	根株輪	源深輪												なし								
初豆	282																							7	
	230																							なし	
中元年 (1861)																								なし	
出井須村	1,437	天原輪	別本田輪	古川輪	中帆輪	見頭輪	源田輪	源田輪	源田輪	源田輪	源田輪	源田輪												なし	
船村	176	一ノ輪	一ノ輪	源田輪												7									
西代村	650	二ノ輪	北ノ輪	源田輪												2									
美濃村	488	原庄輪	原田輪	源田輪												4									
國富村	1,308	坂原輪	青原輪	馬原輪												4									
里林木村	1,541	三殿原輪	善木輪	金江輪	金江輪	源代輪												6							
西林木村	611	山原輪	大原輪	桜ヶ沖輪												4									
合計	15,316	22	22	21	19	11	7	3																106	

秋庭部		石高	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	備考
下伊野村	1,197	森輪	須山輪	須山輪	中倫	吳輪																		なし	
上伊野村	598	下輪	中倫	中倫	中倫	中倫																		なし	
下大野村	598	布山輪	中倫	中倫	中倫	中倫																		3	
上大野村	815	下輪	中倫	中倫	中倫	中倫																		2	
圓木村	437	一小山輪	原田輪	原田輪	原田輪	原田輪																		5	
松浦村	798	井神谷輪	松木輪	松木輪	松木輪	松木輪																		4	
東長江村	1,066	下輪	油工頭輪	山中輪	山中輪	山中輪	山中輪	山中輪	山中輪	山中輪	山中輪	山中輪											4		
魚沼浦	27																							なし	
元治元年 (1860)	278	新田蕨輪	新田大助輪	名原輪	大助輪	源深輪	源深輪	源深輪	源深輪	源深輪	源深輪	源深輪												なし	
吉曾志村	931	上仲田輪	新田潔輪	新田潔輪	中下輪	原田輪	原田輪	原田輪	原田輪	原田輪	原田輪	原田輪												5	
成相志村	80	村中下輪	原田輪	原田輪	原田輪	原田輪																		1	
庄村	161	細輪	原田輪	原田輪	原田輪	原田輪																		2	
西谷村	312	水糸輪	水糸輪	水糸輪	水糸輪	水糸輪																		3	
古志村	608	野打輪	野打輪	野打輪	野打輪	野打輪																		10	
武代村	165	東ノ輪	東ノ輪	東ノ輪	東ノ輪	東ノ輪																		2	
吉内村	362	西ノ輪	西ノ輪	西ノ輪	西ノ輪	西ノ輪																		3	
木園村	950	鶴田輪	鶴丸吉輪	鶴丸吉輪	鶴丸吉輪	鶴丸吉輪																		4	
江舟浦	23																							なし	
片匂浦	56																							なし	
手続浦	78																							なし	
古浦																								なし	
伊野浦																								なし	
合計	9,578	19	18	12	7	4	2	2	1	1	1	1											67		

出雲郡		32ヶ村	石高	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	備考
		坂田村	828	中原領	中原領	柳浜領	自田領	添輪	井上領	田中領																
		258																								
黒目村	897	吉田領	柘原領	鳥羽子領	一本松領	一木松領	(組領)																			なし
三歩市村	515	下り錦領	小原領	并庭領	大内領	大内領																				4
中須村	119																									なし
油羽村	936	平野領	原庭領	寺町田領	内中領	寺庄領	今津領																			6
学頭村	741	正久寺領	鎌ノ下領	堀領	堀領	堀領	三ツ久保領																			6
	601	大木井領	上宇頭領	糸翁領	糸翁領	糸翁領	七日市領	一木資領																		なし
下庄原村	24	川田領	別所領	町西領	(旗ノ下)	(旗ノ下)	(旗ノ下)	(細田)																		7
神原村	767	西合領	中浦領	前原領	宇屋合領	宇屋合領																				5
羽林村	492	上地	岡田領	金田領	宮合領	宮合領																				3
吉成村	368	荒井領	原前領	庄原領	堀領	堀領																				4
武部村	287	越前領	馬頭	馬頭	馬頭	馬頭																				3
上庄原村	1,193	神田領	前原領	三町領	南田波領	北田波領	五反田領	下塙物	馬役分宿																8	
南村	1,187	上原神田領	下原神田領	松原領	砂子領	砂子領	内代領	下り堀領	西野領																6	
中原村	1,186	笠原田領	五反田領	堂道領	堀田領	堀田領	内代領	内代領	内代領																5	
福高村	834	尾ノ西湖	松原領	砂子領	砂子領	砂子領																				1
上庄家村	158	苦野領																								なし
	42																									なし
今在家村	766	川田領	前原領	三町領	南浦田領	北田波領	五反田領	イサナギ領																	6	
井上村	318	尾原領	原原領	大曾根領	日添田領	日添田領	成美生領	栗原領																	4	
	11																									なし
鳥屋村	339	全井領	大平領	堀田領	馬品領	馬品領																				4
別名村	11	128	川田領	的場領																						なし
上阿室村	191	西院	栗原領																							2
上阿室井原村	2,1																									なし
北島村	6,2	三明領																								1
北島井原村	326	田中領	茅戸領	紺領	以下領																					4
水室村	1,1																									なし
水室井原村	542	木下井原村	島田領	(加名士)																						3
神守村	389	向田領	長ヶ坪領	松崎領	折坂領																					4
千吉村	4,639																									なし
天宮井原村	320	西宮領	竹中家領	宗下領	秋沢太田領	段原領	小原領	中押領	添治領	新市原ヶ原領	日出西ノ越														3	
下底工村	1,472	三井井原領	猪切領																							9
宮村	31																									なし
高村井原村	1,122	島山領	中村領	正法領	求院領	土井領																				5
神立村	3,4																									なし
柿立井原村	381	土手下領	川田領	島田領	鳴心原領	後谷領	高林原領	堀領																	4	
出西村	946	五右衛門井原領	星田領	馬感領																						6
求源村	667	船川領																								4
下河原宮村	3,6																									なし
下河原井原村	275	森領	中村領	古川領	長手領	角田領	光明寺領																		4	
上面工村	1,426	高井領	小原領	土井領	川田領	光明寺領																			7	
合計	21,430,039	33	31	29	25	16	12	6	3	2														157		

松江藩領全城をおおう「輪切絵図」(上杉・大矢・石倉)

神戸郡	82ヶ村	石高	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	額等
福岡村	天嚴村	油田倫	岩舟倫																						3
福岡村	下水倫	天嚴倫																							2
中野村	清原倫	新原倫	新原倫	古町倫																					5
大津村	朝原倫	土生原倫	新原倫	五反田倫	二町田倫																				6
木野村	柳原倫	新原倫	新原倫	五反田倫	半ヶ瀬倫																				4
今野村	新野倫	新野倫	新野倫	半ヶ瀬倫																					5
高畠村	池向倫	施工倫	施工倫	半ヶ瀬倫																					6
白下村	英倫	中倫	西倫	半ヶ瀬倫	四反田倫																				4
里方村	八原倫	宮代倫	青木倫	別所倫																					5
天保村	英倫	中倫	西倫	遠野烟管	高治半倫																				3
美野村	利根松倫	百分倫	新井半倫	松林庵倫	平林庵倫																				4
福工村	秀吉半倫	秀吉半倫	砂口倫	牛田倫	牛田倫																				2
小野村	北芦田倫	南芦田倫	一町田倫	堤西倫	久田倫																				5
白枝村	白枝村	松下倫	小買倫	大藏倫	小藏倫																				5
天神村	松林村	曲山半倫	曲山半倫	冷水倫	三作リ倫																				5
北原村	原入倫	砂入倫	下ノ倫	新川倫	生源原倫																				3
下庄村	上ノ倫	原入倫	西原倫	中源倫	中源倫																				3
福工村	八八村	家原倫	中野原倫	中野原倫	北ノ源倫																				2
八八村	江口村	中野原倫	中野原倫	北ノ源倫	北ノ源倫																				5
入南村	入南村	外ノ源倫	西源倫	土手倫	中源倫																				2
常磐村	大鳥倫	中原倫	田舎倫	田舎倫	安田倫																				4
蓬田村	三五田倫	吉森倫	馬渕倫	阿武倫	鬼谷倫																				3
北尻木村	北尻木村	淡倫	坂比須倫	中野倫	清根倫																				3
西回村	長記伦	川田伦	川田伦	川田伦	川田伦																				4
荒木村	外ノ外	内ノ伦	内ノ伦	宇土伦	中源伦																				2
荒木村	大野村	山本伦	田舎伦	新屋伦	安田伦																				4
荒木村	荒木田伦	下井手伦	豊原伦	豊原伦	明善伦																				4
荒木村	上井下伦	寺前伦	寺前伦	寺前伦	寺前伦																				3
知井宮村	九九村	高根伦	栗原伦	栗原伦	栗原伦																				3
上古木村	官治村	天原伦	天原伦	天原伦	天原伦																				3
上古木村	花連村	原田伦	原田伦	原田伦	原田伦																				8
下古志村	馬鹿倫	的馬倫	的馬倫	奥馬糸倫	猪原伦																				4
下塙治村	西尻村	六反倫	豪上倫	豪上倫	利原伦																				3
石井村	町北村	神田倫	土手半倫	古町伦	西谷伦																				7
上塙治村	大井金倫	唯谷上源倫	唯谷下源倫	牛分倫	博美池倫																				7
船渡村	烟田倫	石深倫	西谷倫	神原倫	宇原倫																				4
神手村	松尾倫	松尾倫	松尾倫	栗原倫	栗原倫																				5
宇頭手村	石谷倫	稻口倫	稻口倫	西谷倫	大藏倫																				9
西山手村	西岩根倫	門手倫	門手倫	門手倫	佛谷倫																				4
所野村	所野村	問手伦	問手伦	金原伦	吉原伦																				2
見々句村	芦山手村	坂石伦	坂石伦	御方伦	御方伦																				4
芦神谷村	鷲原倫	鷲原倫	鷲原倫	鷲原伦	羽根原伦																				3
西仲・中村	西云句倫	竹崎倫	竹崎倫	竹崎伦	竹崎伦																				4
西仲・中村	西七口倫	大藏倫	大藏倫	市堀倫	今井伦																				4
久村	多岐村	原倫	家前伦	金無伦	并手下伦																				5
大野村	大野村	宮原倫	宮原倫	宮原伦	野原伦																				2
二郎村	二郎村	松原倫	松原倫	松原伦	船原伦																				3
常徳寺村	常徳寺村	立五倫	柳垣倫	柳垣伦	高木伦																				4
上野村	上野村	立五倫	柳垣倫	柳垣伦	高木伦																				3
吉野村	吉野村	水手伦	中田伦	客原伦	客原伦																				4
下船渡村	下船渡村	野手伦	川下伦	代官金倫	寶深倫																				4
乙立村	乙立村	千木伦	田代伦	鬼田伦	鬼田伦																				4
合計	66	66	57	45	24	10	8	4	3	1														204	

松江歴史館

研究紀要

第2号

渡部彝の復権と周辺の人間模様	関 和彦	1
「松平斉貴上京行列図」に見る大名行列の構造	松原 祥子	15
幕末の松江渡海場 ——「御用留 船目代六右衛門」をよむ——	多久田友秀	36
松江城下町遺跡出土の桔梗紋の瓦を使用した家について	新庄 正典	56
島根県初の私立和洋画学校「方圓学舎」入門者一覧	西島 太郎	61
松江藩領全域をおおう「輪切絵図」 ——安定的な年貢確保を目的に——	上杉 和央	78(11)
	大矢 幸雄	
	石倉 舞美	
松江藩で利用された花崗岩類	朽津 信明	88(1)
	西尾 克己	
	稻田 信	

平成 24 年 3 月



MATSUE HISTORY MUSEUM

BULLETIN

No.2 MARCH, 2012

CONTENTS

Watanabe Tsune:An examination of his resurgence and influence on his peers. -----	SEKI Kazuhiko----	1
Structure of feudal lord's procession seen in the "Figure of procession of Matsudaira Naritake visit to Kyoto" -----	MATSUBARA Sachiko----	15
A basic study of the privileged group of sailors in Matsue in the end of Edo Period -----	TAKUDA Tomohide----	36
The house which uses roof-tiles dug up from the remains of Matsue castle town. The roof-tiles have Japanese bellflower ornaments.-----	SHINSYO Masanori----	56
A private art school was established for the first time in Shimane Prefecture "HOENGAKUSYA" list of students enrolled -----	NISHIJIMA Taro----	61
"Wakiriezu" : Atlases Showing Land Tax Collectiiion in the Matsue Domain -----	UESUGI Kazuhiro----	78(11)
	OYA Yukio	
	ISHIKURA Maimi	
Granitic rocks used in Matsue-han , Shimane Prefecture in early-modern age -----	KUCHITSU Nobuaki----	88(1)
	NISHIO Katsumi	
	INATA Makoto	

Published by
Matsue History Museum
Matsue, Japan

平成二十四年（二〇一二）三月三十一日印刷
平成二十四年（二〇一二）三月三十一日発行

松江歴史館研究紀要 第二号

編集発行 松江歴史館

住所 所 島根県松江市殿町二七九番地

〒六九〇一〇八八七

F A X 電話 ○八五二一五五一五五一

F A X ○八五二一三二一一六一一

印刷所 千鳥印刷株

島根県松江市黒田町四八四一五

〒六九〇一〇八七六

○八五二一七一五五

○八五二一七一六九一七

○八五二一七一六九一七